

学校長通信 No. 17

一年限定特別ルール
路説明会より

3年生保護者向け進

2年半続くアベノミクスの結果、企業業績は回復し雇用状況も順調に改善、国民の所得も増え始めています。ただ、それを享受・実感できるのはごく一部の大手企業とその社員に限られている、とも言われております。真偽はさておき、目の前の現実として、私たちの子ども達が生きていく成熟しきった日本の将来が持続的に右肩上がりに伸びていくと考えることは難しく、景気変動は目まぐるしく、あっという間に雇用環境が激変し、若者達の就職氷河期は断続的に続く。「うちの子が学校を卒業する時はどうだろう。安定した良い求人がたくさんある時だろうか。」親としては、そんなやるせなさだけが募っていくようでもあります。そんな不公平で頼りない現実があるからこそ、家庭と学校が一体となって、子ども達をサポートしてやる必要があります。それはいつの時代も同じことなのですが、今日はそのサポートの仕方について、もう少し平たくお話しさせていたいただきたいと思えます。

言うまでもなく、学校というのは様々なことを学ぶ場です。もちろん勉強するだけの場ではありませんが、最終的に受験学力を身につける、ということだけは進学・就職に係らず、誰ひとり免れることができません。難易度の差はあるにしても、次のステップへは必ず試験が付いて回るからです。ですから、やはり子ども達には勉強する重要性を理解してもらう必要があります。具体的には2点です。「希望進路決定が早いほど目標実現率が高い。」「平日2時間休日3時間以上勉強すれば、実現率が高い。」このシンプルな事実だけです。本校に入学できる能力がある生徒ならば、全員がこの原則どおりの結果を得られる、と考えていただいてもよいと思えます。

学校では希望進路の決定のため、1年時からキャリア学習・総合学習を通じて準備をしています。今年度からキャリアガイダンスセンターや自習室も稼働させ、生徒らの2時間3時間の自主学習を支える場の設定をしました。これを踏まえ、ご家庭にも「2時間3時間の学習時間確保」のため、もうひと踏ん張りお願いしたいことがあります。それは、バイトとスマホについてです。バイトとスマホは、最も学習時間を奪うという意味で、難敵の象徴です。ですから、人生最大級の試験に向かうこの1年。去年までとは明らかに違う「この1年限定の特別ルール」をしっかりとご家庭で決めてほしいと思えます。なにも一生ずっとスマホとバイトを目の敵にして闘えと言うわけではありません。いろいろと厳しい事情もあろうかと思えますが、この1年だけは、私たち全員の責務と

して、生徒らに全力で勉強に向かわせてやりたい。それを保護者の皆さまにも是非ご理解いただきたいと思います。

具体的には、「高校生なんだから、スマホ代や遊ぶお金くらいは自分でバイトして稼ぎなさい。バイトは社会勉強にもなるし・・・」というのとは何かやめてほしいな、と思います。これではバイトとスマホ、ダブルで学習時間を阻害します。この現実を踏まえ、バイトとスマホについてはこの1年は特別ルールで一時中断、それが現実的でないのなら一時制限。このことを是非ご家庭で具体的に話し合ってくださいと思います。バイトを断って、スマホや買い物や遊びを必要最低限まで減らして我慢するのが子どもの務め。その代り必要最低限の分だけは頑張っってやり繰りして出してやるのが親の務め。学習環境を整えトコトン生徒に向き合うのが教師の務め。

あとひとつ、子ども達の健康管理をお願いします。例えば、おにぎりを持たせてやっってください。学校で自室で子ども達が自習する時、おなかが減ります。頭を使う作業は、肉体労働に匹敵するカロリーを消費するとも言われております。そんな時、何か作って持たせてやっってください。必ず励ましになり、思いが伝わります。

以上、少し乱暴なことも申しあげましたが、この1年にかかる生徒・保護者・教師の覚悟としてご理解いただき、不適切な言葉がございましたら、なにとぞ文脈をご理解の上、ご容赦いただければ幸いに存じます。